

令和3年度学力定着状況確認問題結果について【概要版】

山口県教育庁義務教育課

令和3年12月

1 実施概要

(1) 目的

児童生徒の客観的な学力状況の経年的な把握と分析を通して、課題解決に向けた指導の工夫改善等の取組の充実を図る全県的な検証改善サイクルを確立し、県内全ての児童生徒の学力の確実な定着と向上を図る。

(2) 実施期日

令和3年10月20日（水）※学校の状況に応じて、10/18～10/22の期間に実施

(3) 実施対象及び実施内容

①小学校

学 年	実施人数	内容（時間）	
第5学年	10,845人	国語、算数、理科(各40分)	及び質問紙
第6学年	10,689人	国語、算数(各40分)	及び質問紙

②中学校

学 年	実施人数	内容（時間）	
第1学年	10,043人	国語、数学(各45分)	及び質問紙
第2学年	9,927人	国語、数学、理科、英語(各45分)	及び質問紙

2 教科の問題に関する結果

(1) 平均正答率

①小学校

	国 語	算 数	理 科
第5学年	52.9%	40.6%	60.0%
第6学年	59.1%	49.2%	

②中学校

	国 語	数 学	理 科	英 語
第1学年	59.7%	54.4%		
第2学年	61.5%	61.7%	38.4%	58.5%

(2) 教科の問題結果から見られる特徴

- ◇ 基礎的・基本的な内容を問う問題については、一定程度、成果や改善傾向が見られる。
- ◆ 基礎的・基本的な内容を活用して具体的な場面について考察する問題や記述式の問題には、依然として課題が見られる。

		主な成果	主な課題
小学校	国語	◇基本的な漢字を正しく読むこと ◇文の中における主語、述語を捉えること	◆情報を相手に分かりやすく伝えるために発表の仕方を工夫すること ◆目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること ◆文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること
	算数	◇乗法と減法の混合した整数の計算をすること ◇場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算すること	◆乗法の場面を、□を使った式で表すこと ◆基準量の違いによって、同じ割合でも表す大きさが異なることに気づくこと ◆除法を用いて色紙の中に30個の正方形をかくことができない理由を、言葉や式を用いて説明すること
	理科	◇空気の性質について理解すること ◇水の流れと地面の傾きの関係を理解すること	◆豆電球の性質について理解すること ◆植物がよく成長するための条件について理解して説明すること ◆太陽の位置の変化や影のでき方について考えること
中学校	国語	◇文脈に即して、描写の内容を理解すること ◇主述の関係に気を付け、正しい表現に直すこと ◇内容を正確に捉えて、適切な接続語を選ぶこと	◆文の中における被修飾語を捉えること ◆行書の特徴を理解すること ◆下書きの構成の工夫について考えること
	数学	◇計算のきまりにしたがって計算をすること ◇比例とみなして結論を得ること	◆基準量を基に比較量を求めること ◆円柱の表面積を求めること ◆事象と式の対応を的確に捉え、文字式の成り立ちを説明すること ◆投影図を使って高さの求め方を説明すること
	理科	◇身のまわりの生物の中から植物を選び分類をすること	◆光の性質を使って身のまわりの事象を説明すること ◆与えられたデータやグラフを活用して身のまわりの事象を説明すること
	英語	◇まとまりのある英語を聞いて、話の概要を聞き取ること ◇聞いて把握した内容について、適切に応じること	◆文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くこと ◆書かれた内容に対して、質問をするために、話の内容を捉えること ◆日常的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、把握した内容についての質問に対して、適切に応じること（正確さ）

(3) 特徴的な問題例

①小学校国語

◇成果や改善傾向の見られた問題

【問題例】国語 小学校6年 1 三

文の中における主語、述語を捉えること

正答率 76.0%

1 三 次の文の「主語」と「述語」はどれですか。アからオまでの中からそれぞれ選んで、記号で書きましょう。

わたしの 妹が 公園の ブランコで 遊ぶ。
ア イ ウ エ オ

【正答】主語：イ 述語：オ

【令和3年度全国学力・学習状況調査】 小学校国語 3 三(2)イ

正答率 69.1%

次のイの文について、 部「残されています」の主語として適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

イ 時にはみんなが使っていた一輪車がかたづけられずに残されています。

- 1 みんなが
- 2 使っていた
- 3 一輪車が
- 4 かたづけられずに

【正答】 3

◆課題の見られた問題

【問題例】国語 小学校5年 3 二

情報を相手に分かりやすく伝えるための発表の仕方を工夫すること

正答率 26.4%

3 二 小野さんの発表のよさについて述べているものとして、最も適切なものを次のアからエまでの中から一つ選んで、記号で書きましょう。

- ア 聞く人がわかりやすいように、聞き手にとってむずかしいと思う言葉を説明している。
- イ 聞く人に正しく伝わるように、参考にした資料の出典を明確にしている。
- ウ 聞く人がわかりやすいように、アンケートの結果をもとに自分の考えを説明している。
- エ 聞く人に正しく伝わるように、聞き手が理解しているかをと中で確にんしている。

【正答】ア

②小学校算数

◇成果や改善傾向の見られた問題

【問題例】算数 小学校6年 2 (4)

場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算すること

正答率 75.8%

(4) 4 mの重さが6 kgの棒があります。1 mの重さは何kgですか。求める式と答えを書きましょう。

【正答】 式 $6 \div 4$ 答え 1.5 kg

【令和3年度全国学力・学習状況調査】 小学校算数 4 (2)

正答率 52.5%

8人に、4 Lのジュースを等しく分けます。

1人分は何Lですか。求める式と答えを書きましょう。

【正答】 式 $4 \div 8$ 答え 0.5 L

◆課題の見られた問題

小数の除法の計算をすること

【問題例】算数 小学校5年 1 (2)

正答率 35.3%

(2) $19.6 \div 0.3$

(商を一の位まで求め、商と余りを書きましょう。)

【正答】 65あまり0.1

【問題例】算数 小学校6年 1 (2)

正答率 35.5%

(2) $3.4 \div 0.7$

(商は整数で求め、あまりも出しましょう。)

【正答】 4あまり0.6

③小学校理科

◇成果や改善傾向の見られた問題

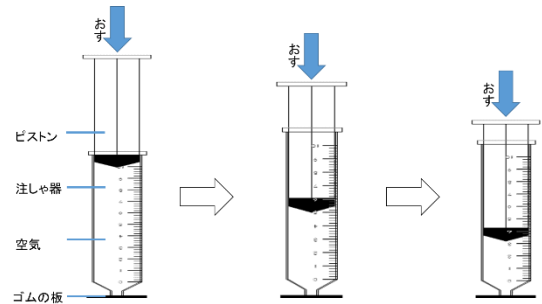
【問題例】理科 小学校5年 **5** (1)

空気の性質について理解すること

正答率 81.8%

空気の体積が小さくなるのかどうかを調べるため、風船のかわりにかたい注し器を使って空気をとじこめ、空気をおしたときに体積がどのようになるのか、実験してみることにしました。結果は、下の図のようになりました。

ひろみさんは、この実験のまとめを次のように書きました。() に当てはまる言葉を答えましょう。



上から力を加えるとピストンが下がったことから、とじこめた空気をおすと、空気の体積は() ことが分かった。

【正答】小さくなる
(または、ちぢむ)

【平成29年度学力定着状況確認問題】小学校5年 理科 **8**

空気と水の押し縮められ方の違いについて理解すること

正答率 49.1%

◆課題の見られた問題

【問題例】理科 小学校5年 **7** (2)

植物がよく成長するための条件について理解して説明すること

正答率 34.7%

太郎さんと花子さんは、発芽したインゲンマメを鉢に植えかえ、植物の成長に何の関係しているかを調べました。そして、次のことに気づきました。



太郎さん

植物がよく成長するのに、「日光」は必要な条件だったよ。

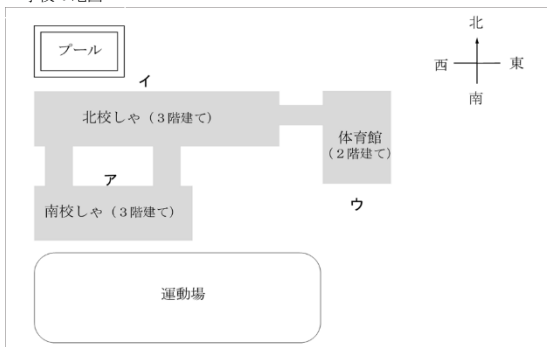
「肥料」も、よく成長するのに必要な条件だったね。



花子さん

実験の終わりの後も、鉢に植えたインゲンマメを学校の広場で、育て続けることにしました。学校には広場が3か所あります。ア、イ、ウのどの広場で育てると、最もよく育つでしょうか。その理由を太郎さん、または花子さんの言葉をつかって説明しましょう。

学校の地図



【正答】ウ

植物がよく成長するには日光が必要で、ウの場所は一日を通して一番日光が当たるから。

④中学校国語

◇成果や改善傾向の見られた問題

【問題例】国語 中学校1年 5 三

主述の関係に気を付け、正しい表現に直すこと

正答率 74.2%

三 【プレゼンテーションの場面の一部】で、田中さんの発言の①「私が提案する料理は、ほうとうという料理を提案します。」を主語と述語の関係に気を付けて、正しい表現に直しなさい。

【正答例】 私が提案する料理は、ほうとうです。

【令和3年度4月確認問題】中学校1年 国語 三 4

正答率 55.3%

【発表の原こう】(一部抜粋)

A 大切なことは、自分にできることをしていくことが大切だと思います。

4 白石さんは、【発表の原こう】で、Aの_____線部と_____線部とがうまくつながっていないことに気が付き、この文を書き直すことにしました。文の意味が変わらないように、の中に続きを書きなさい。

大切なことは、.

【正答例】 自分にできることをしていくことだと思います。

◆課題の見られた問題

【問題例】国語 中学校1年 3 三

文の中における被修飾語を捉えること

正答率 25.7%

三 次の文について、「昼休みに」が修飾しているものとして、最も適切なものを、あとの1～4の中から選び、記号で答えなさい。

昨日、昼休みに図書室で本を借りた。

1 昨日 2 図書室で 3 本を 4 借りた

【正答】 4

⑤中学校数学

◇成果や改善傾向の見られた問題

【問題例】数学 中学校2年 8 (2)

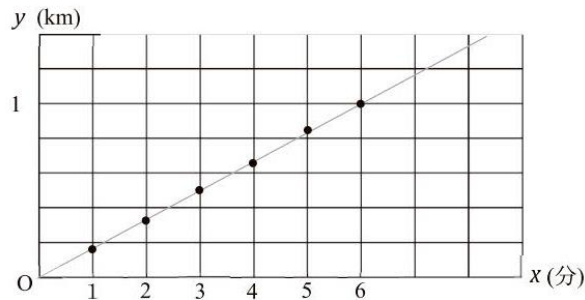
比例とみなして結論を得ること

正答率 80.4%

(2) 洋介さんは、スタートしてから30分間でどれくらいの距離を走ることができるかについて求めるために、次のように考えました。

【洋介さんの考え】

スタートしてからの時間と走行距離は比例していると考えると、30分間に走った道のりを求めることができる。



【洋介さんの考え】に基づいたとき、スタートしてから30分間で何km走ることができるか、求めなさい。

【正答】 5 (km)

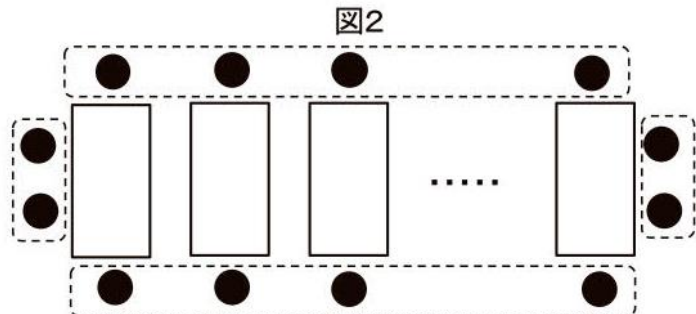
◆課題の見られた問題

【問題例】数学 中学校1年 9 (2)

事象と式の対応を的確に捉え、文字式の成り立ちを説明すること

正答率 35.2%

(2) ゆかりさんは、図1のように机を n 台並べたときにいすが何脚必要かを求めるために、図2のようにいすを囲んで考えたところ、必要ないすの数は $2n+4$ という式で表されることがわかりました。ゆかりさんの考え方が正しいことを説明するために、下の【ゆかりさんの説明】を完成させなさい。



【正答例】図2のように囲むと、机の上側の囲み部分のいすの数は、 n 脚である。机の下側の囲み部分のいすの数も n 脚であり、上下あわせていすの数は、 $2n$ 脚になる。また、両端の机には、2脚ずついすがあるため、その両端のいすの数4脚を、 $2n$ 脚に加えると、図のように並べたときのすべてのいすの数が分かる。

⑥中学校理科

◇成果や改善傾向の見られた問題

【問題例】理科 中学校2年 5(1)

身のまわりの生物の中から植物を選び分類をすること

正答率 73.1%

5 生物に関する最初の授業で、身のまわりの生物を20種類あげ、カードに書いた。その後、生物のなかま分けについて、次の課題に対する仮説や計画を立てながら取り組んだ。次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

【活動の場面】

先生：ここに皆さんが発表してくれた、身のまわりの生物のカードが20枚あります。

サクラ	コイ	ツツジ	イヌ	ユリ
ツバメ	イルカ	ネコ	サメ	イネ
トンボ	コウモリ	カモ	ハクチョウ	カニ
カメ	イカ	ハト	マグロ	カエル

生徒B：生活している場所で分けてみよう。

陸上				
サクラ	カエル	ツツジ	イヌ	ユリ
ツバメ	コウモリ	ネコ	トンボ	イネ
ハト				
水中・水上				
イルカ	サメ	カモ	ハクチョウ	カニ
カメ	イカ	マグロ	コイ	

生徒A：カエルは水中でも生活しているけど、陸上でいいのかな。

生徒B：大人になると陸上で生活しているから、陸上しておくね。

生徒A：私は観察中に、自ら移動した生物と、移動しなかった生物に分けてみたよ。

観察中に移動した生物				観察中に移動しなかった生物	
?	?	?	?	?	?
?	?	?		?	?

【正答】 サクラ ツツジ ユリ イネ

(1) Aさんは、下線部の活動の場面で、陸上で生活する生物として分けたものを、観察中に自ら移動した生物と移動しなかった生物に分けた。このとき、「観察中に移動しなかった生物」に選んだと予想される生物を4種類答えなさい。

◆課題の見られた問題

【問題例】理科 中学校2年 6(3)

光の性質を使って身のまわりの事象を説明すること

正答率 7.1%

6 山口さんは、南向きの窓についていたカーテンをブラインドに付け替えた。次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(3) 山口さんは、実験の後、新たな疑問をもったので、秋吉さんに相談をした。次の二人の会話の()に入る説明を答えなさい。

山口さん：スラットの角度を調節すると、部屋に光が差し込み、光を取り込むことができたよ。部屋に光が入っているのに、外の景色は見えないんだ。外から見られたくないけど、部屋を明るくしたいときに便利なんだ。でも、この現象を、どうやって説明したらよいのだろう。

秋吉さん：ものが見えるということは、物体の表面で反射した光が目が届くからだとして学習したね。見上げるようにして、スラットのすき間を見ると、空は見えるの？

山口さん：うん。見上げるような角度にすると空は見えるけど、図4のように、まっすぐ地面に平行な目線で見ると外の景色は見えないんだ。

秋吉さん：つまり、木や建物などの物体で反射した光は()。だから見えないんじゃないかな？

【正答例】 スラットにはばまれ、目に届かない

⑦中学校英語

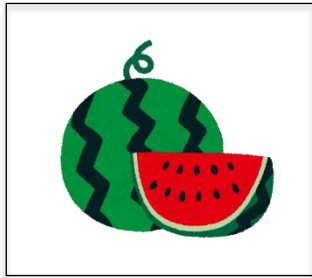
◇成果や改善傾向の見られた問題

【問題例】英語 中学校2年 ③ (1)

まとまりのある英文を聞いて、話の概要を聞き取ること

正答率 92.5%

③ (1) 英語の授業で、先生が次の3枚のスライドを見せながら週末の出来事を紹介しています。先生は、ア、イ、ウのイラストをどのような順番で見せているのでしょうか。正しい順番となるように並べ替え、記号で答えなさい。



ア



イ



ウ

Hi, everyone. Today I will talk about my last weekend. I went to Yamaguchi beach with my family and enjoyed swimming on Saturday. Then we ate watermelon in the afternoon. It was very delicious. On Sunday I went fishing at the beach and got some fish. I enjoyed my weekend.

【正答】 ウ → ア → イ

◆課題の見られた問題

【問題例】英語 中学校2年 ⑤ (2)

文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くこと 正答率 27.4%

⑤ (2) 【場面】 トムはケン之家にホームステイしている留学生です。2人はトムが持ってきた写真を見ながら話をしています。

Ken: Who's this?
 Tom: This is my brother, Bob.
 Ken: He *looks the same as you!
 Tom: People say that to me *all the time.
 Ken: He has many books!
 Tom: *Exactly. He likes reading.
 Ken: ()?
 Tom: He has about three hundred books.



(注) look the same as ~ : ~に似ている

all the time : いつも

exactly : その通り

【正答例】 How many books does he have

3 児童生徒質問紙調査の結果 (○：成果 △：一部成果 ●：課題)

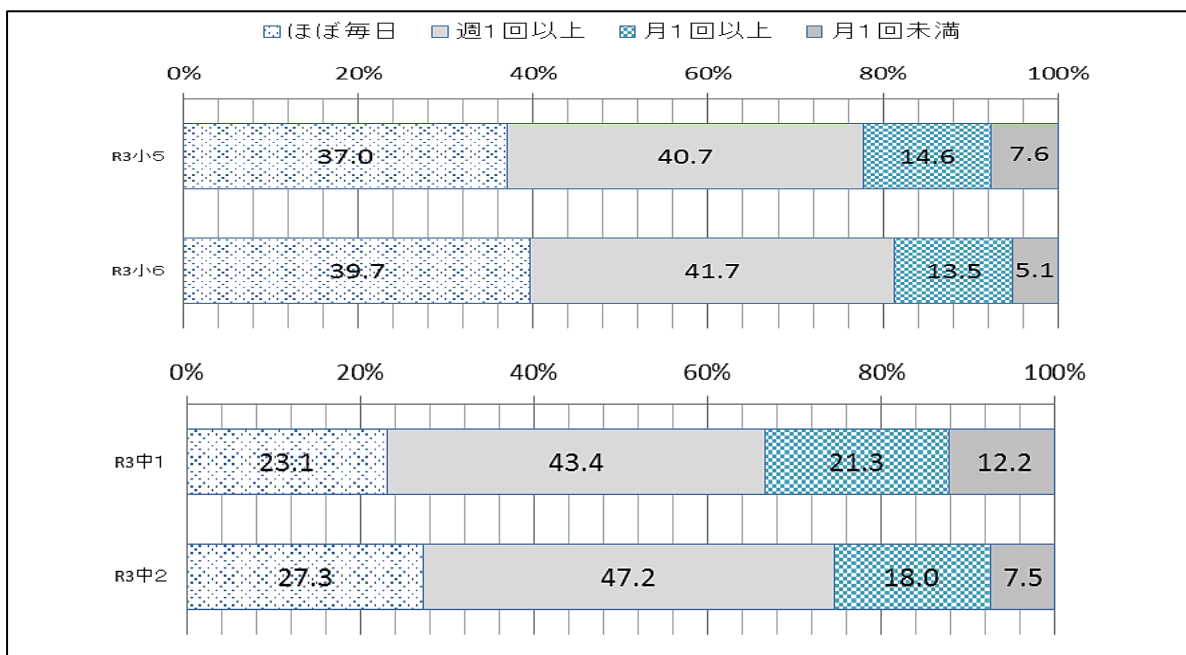
【ICT活用】

【質問5】あなたは学校で、コンピューターなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。

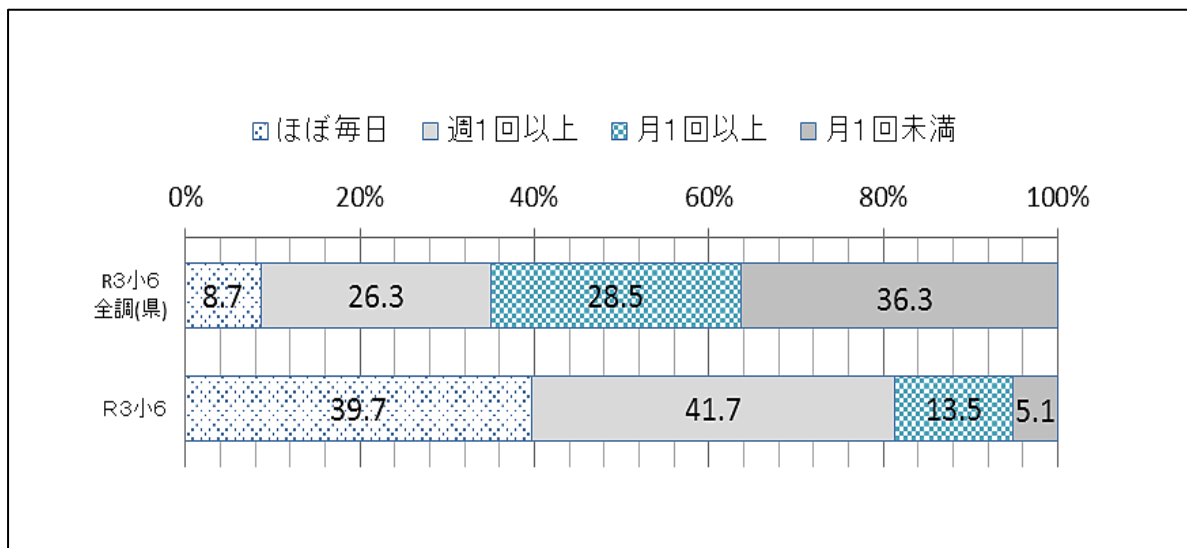
△ 「ほぼ毎日」と回答した割合は、小学5・6年生では40%、中学1・2年生は30%を下回っている。

○ 「ほぼ毎日」と回答した割合を、同一の児童集団で比較すると、大幅に増加している。

【今年度調査の結果】



【同一の児童集団で比較】(全国学力・学習状況調査との比較)

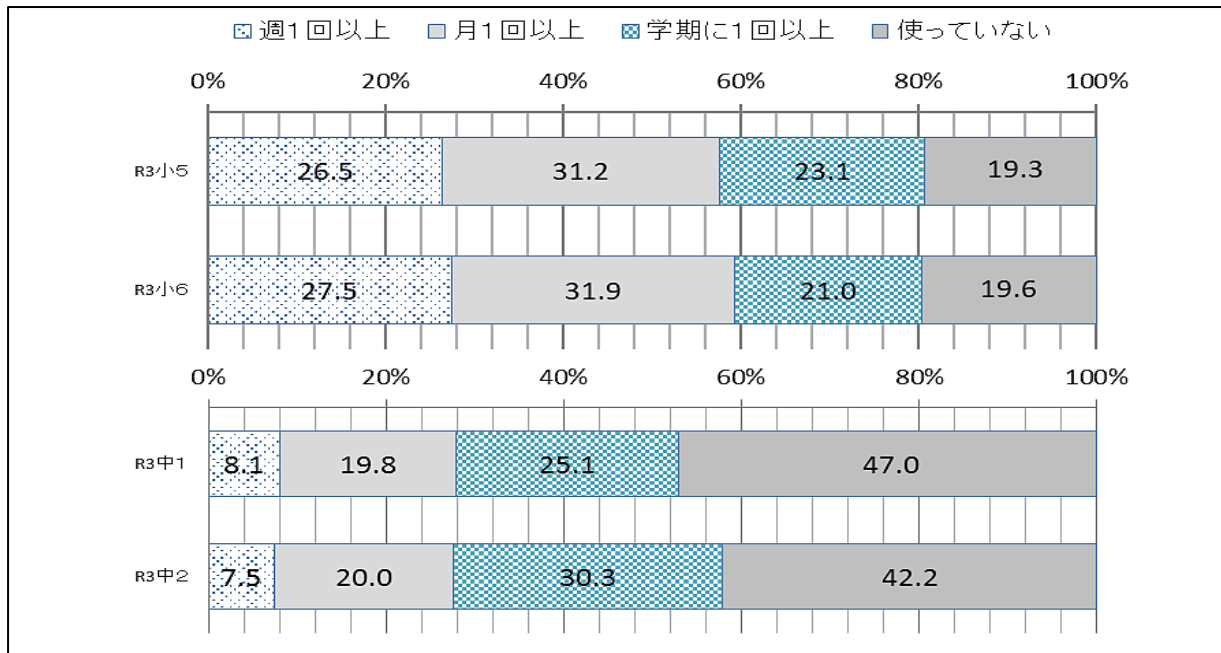


【学習支援プログラムの活用】

【質問6】 やまぐちっ子学習プリントなどのやまぐち学習支援プログラムを、どの程度使用していますか。

- 「週1回以上」と回答した割合は、小学校で30%、中学校で10%を下回っている。

【今年度調査の結果】

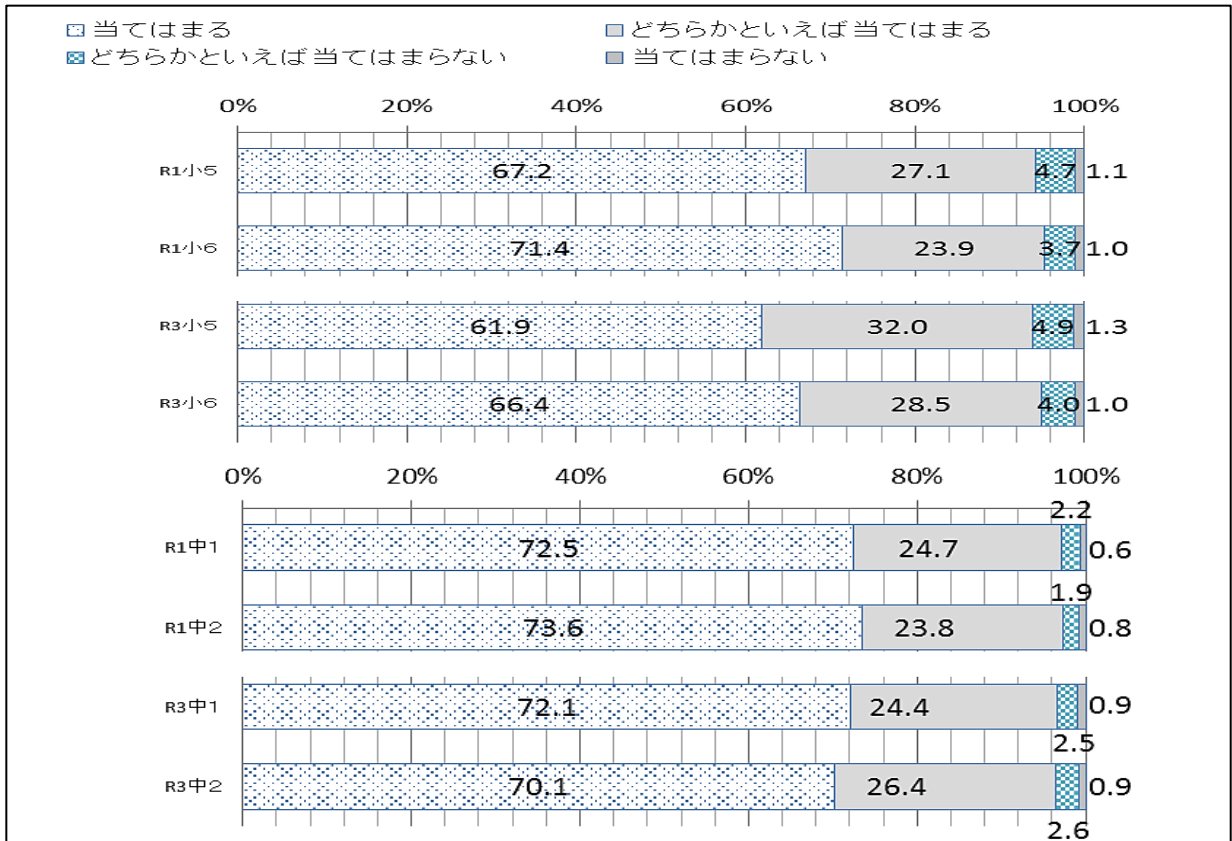


【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善】

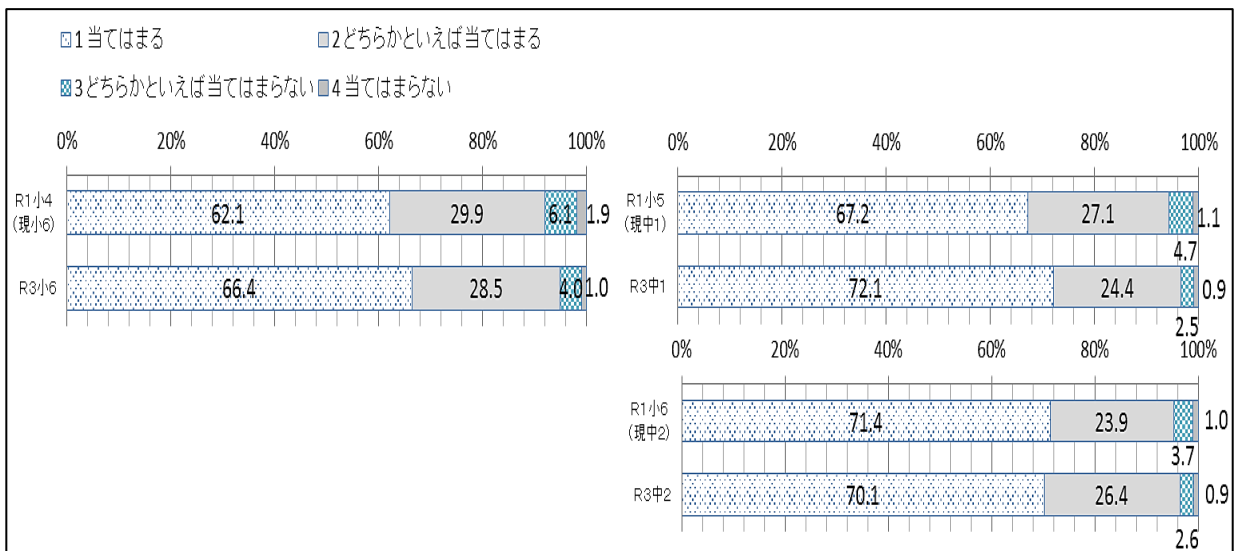
【質問7】授業の中で、授業の目標（めあて、ねらい）が示されていると思いますか。

- 「当てはまる」と回答した割合を、学年ごとに一昨年度と比較すると、小学5・6年生・中学2年生で減少している。
- △ 「当てはまる」と回答した割合を、同一の児童生徒集団で比較すると、中学2年生では大きな変化はないが、小学6年生・中学1年生で増加している。

【令和元年度調査との比較】



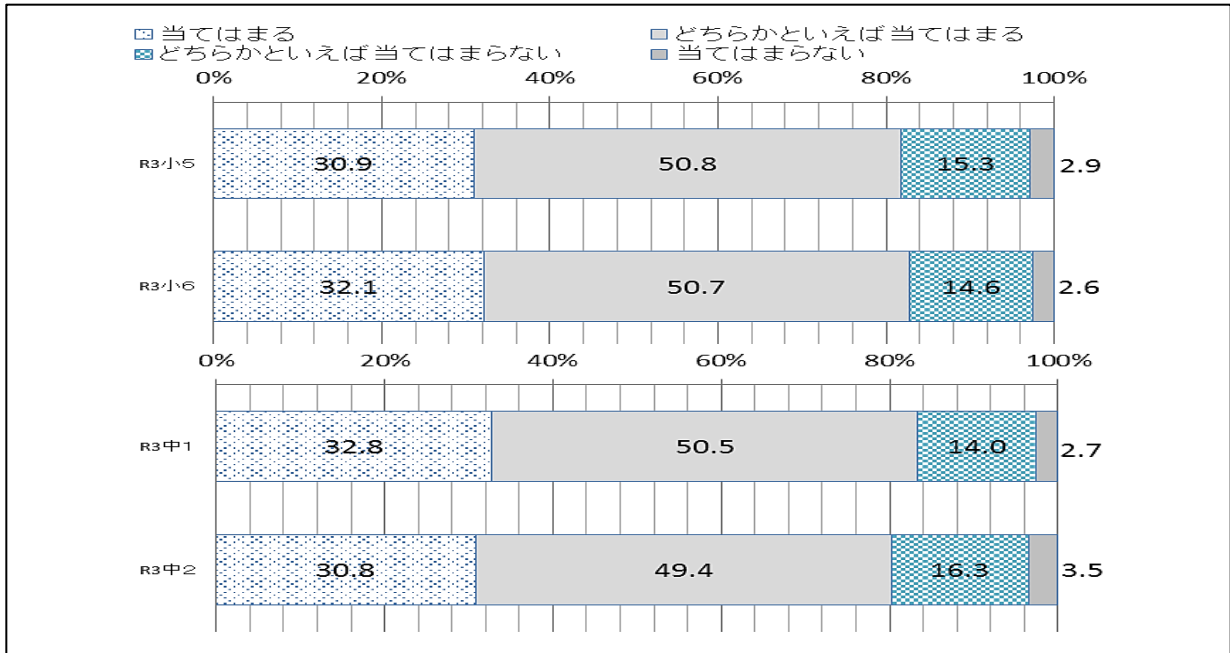
【同一の児童生徒集団で比較】



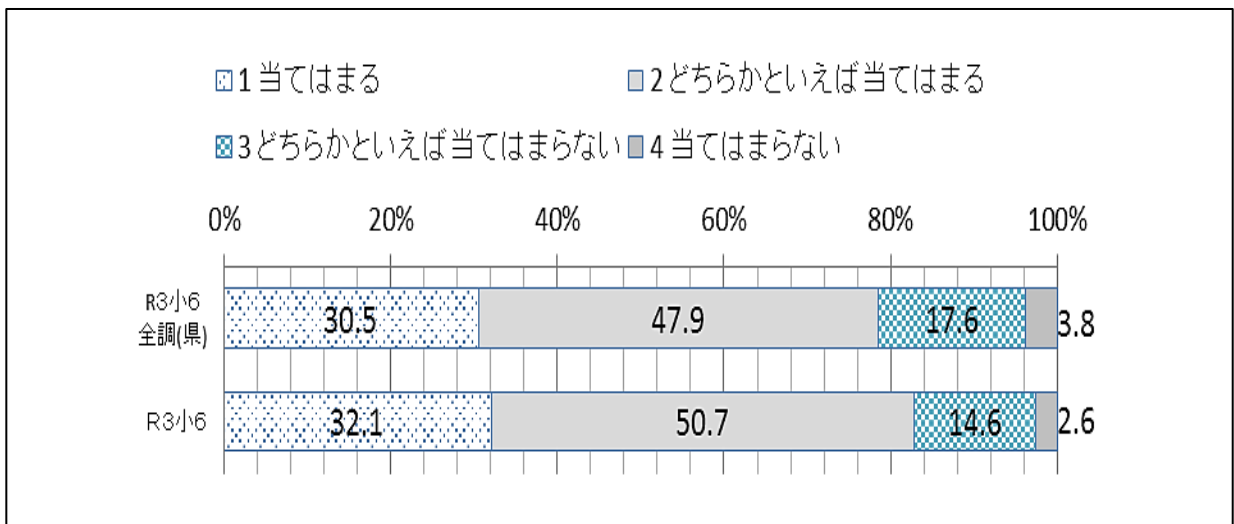
【質問8】学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると思う。

- 「当てはまる」と回答した割合は、約30%にとどまっている。
- 肯定的な回答の割合を、同一の児童集団で比較すると、増加している。

【今年度調査の結果】



【同一の児童集団で比較】(全国学力・学習状況調査との比較)

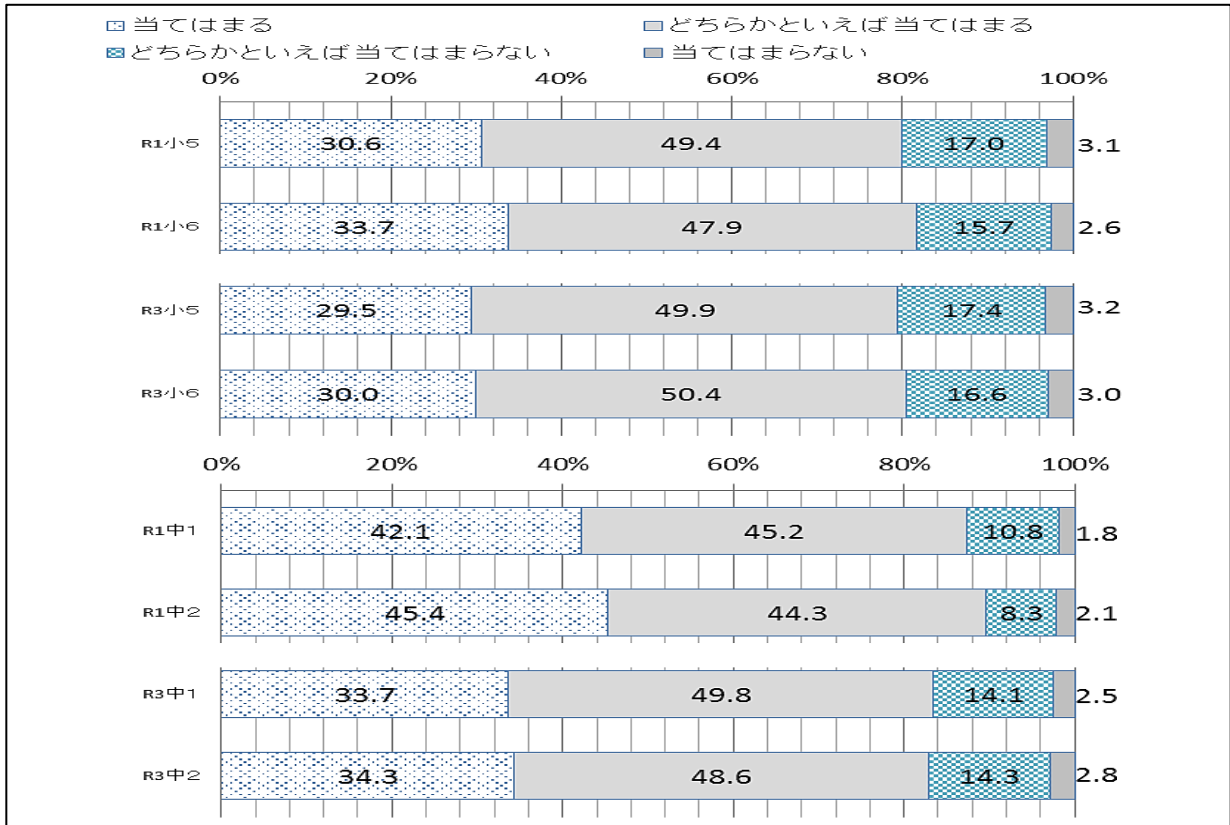


【質問9】授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う。

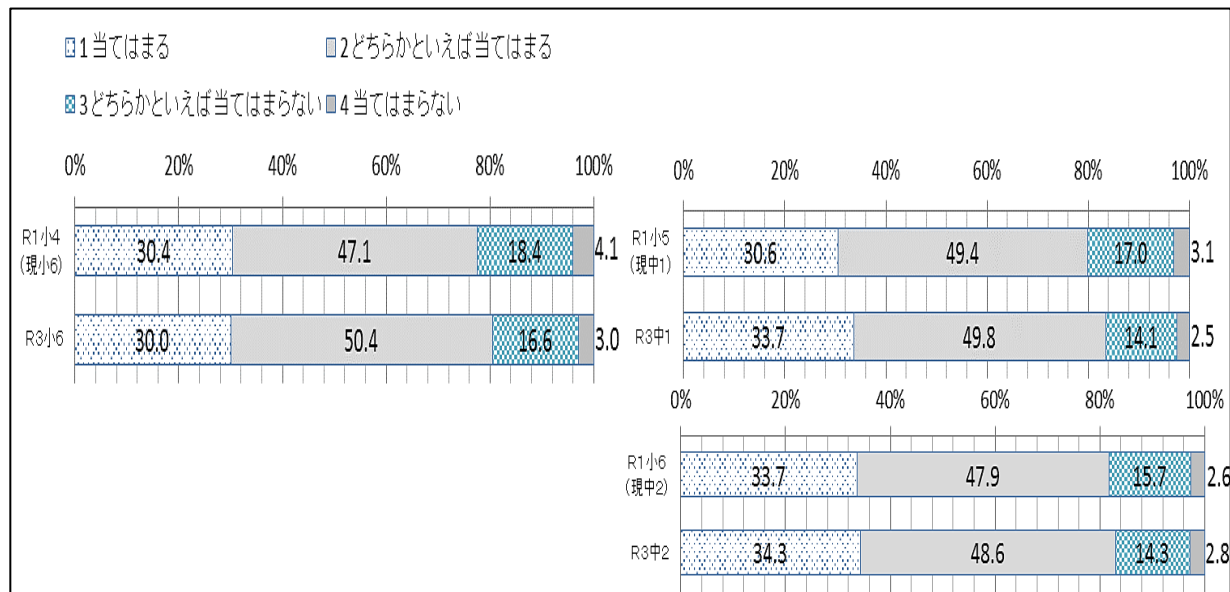
△ 肯定的な回答の割合を、学年ごとに一昨年度と比較すると、小学校は大きな変化はないが、中学校は減少している。

○ 肯定的な回答の割合を、同一の児童生徒集団で比較すると、全ての学年で増加している。

【今年度調査の結果】



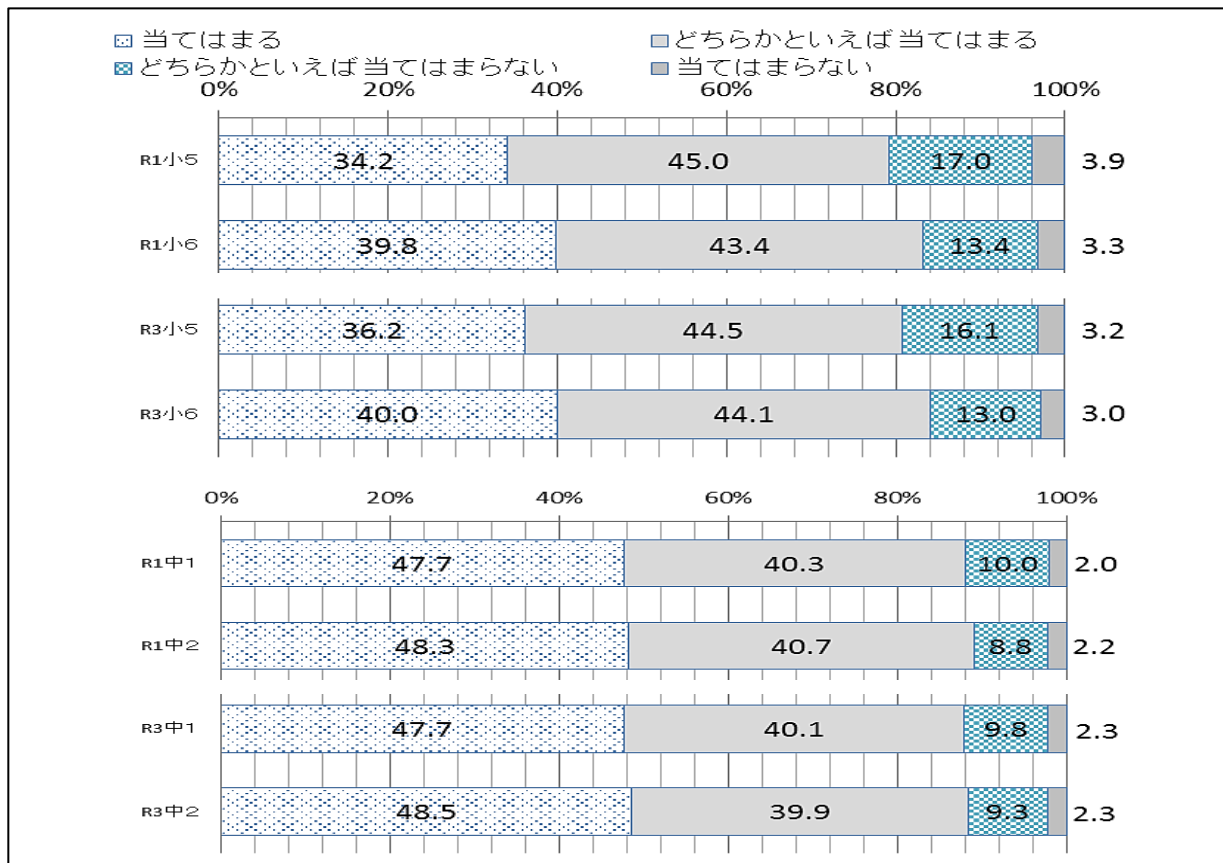
【同一の児童生徒集団で比較】



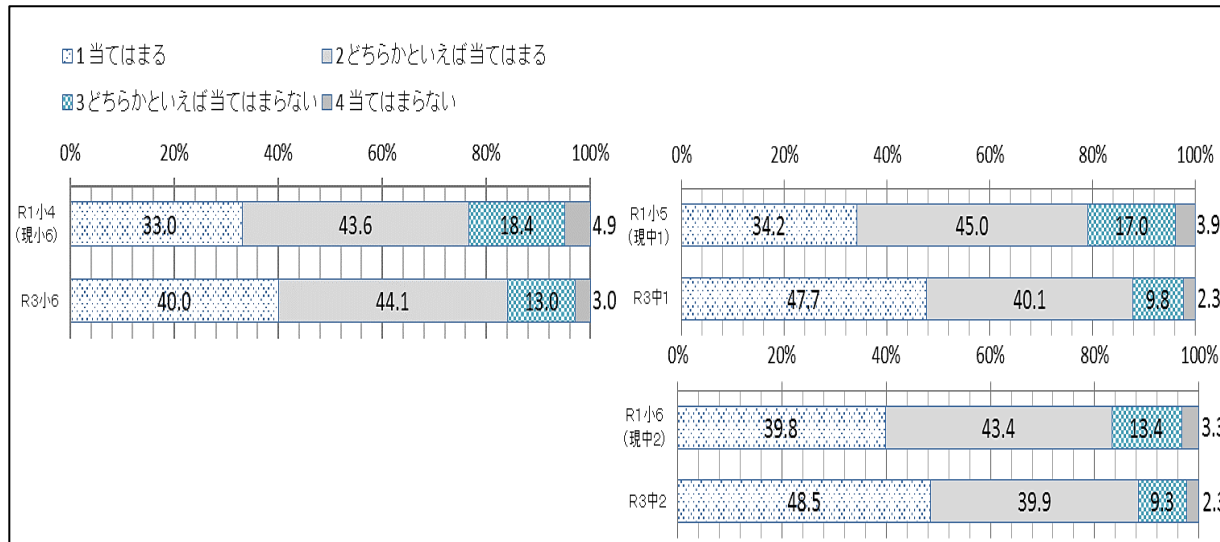
【質問12】学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。

- △ 肯定的な回答の割合を、学年ごとに一昨年度と比較すると、小・中学校とも、大きな変化はない。
- 肯定的な回答の割合を、同一の児童生徒集団で比較すると、全ての学年で増加している。

【令和元年度調査との比較】



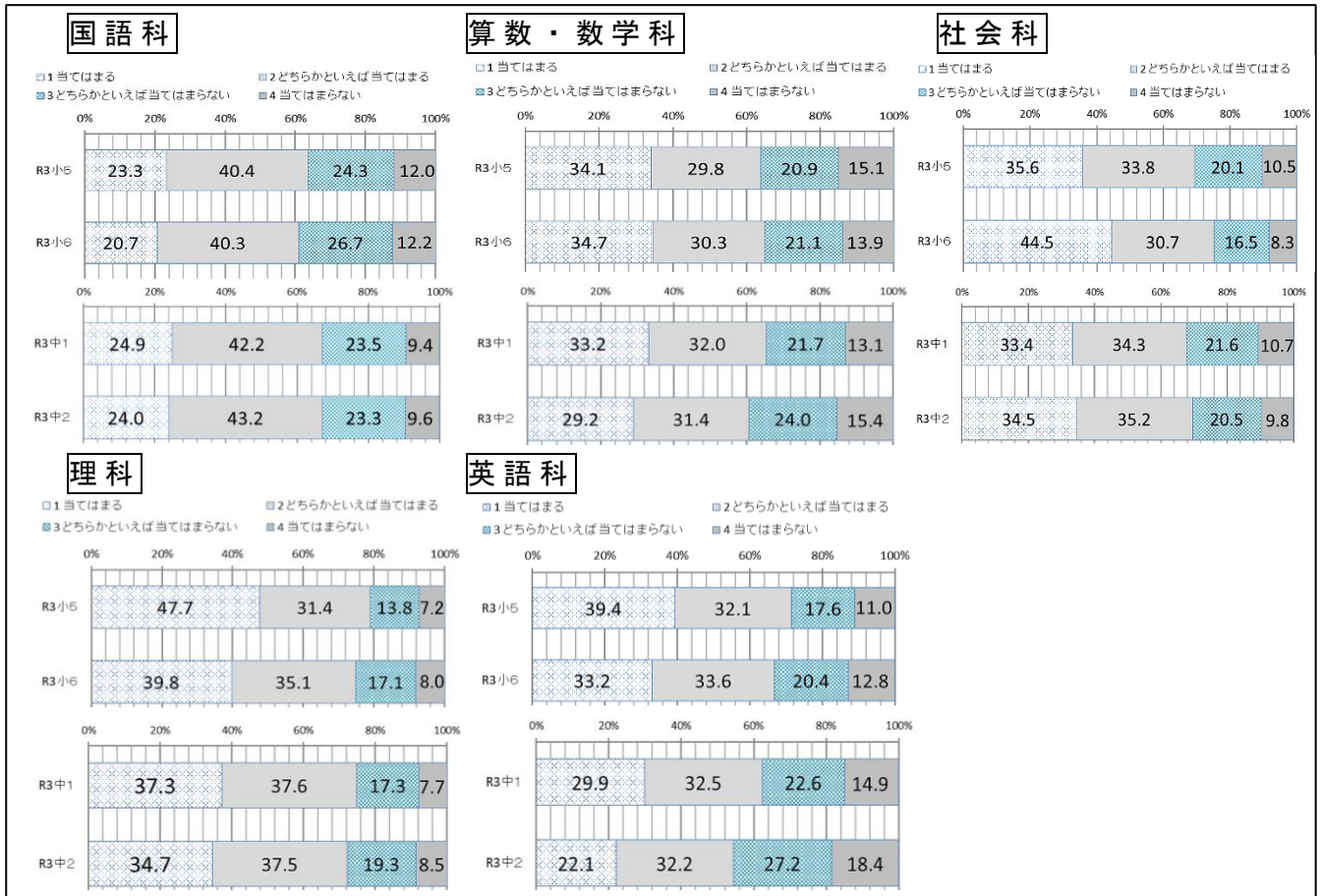
【同一の児童生徒集団で比較】



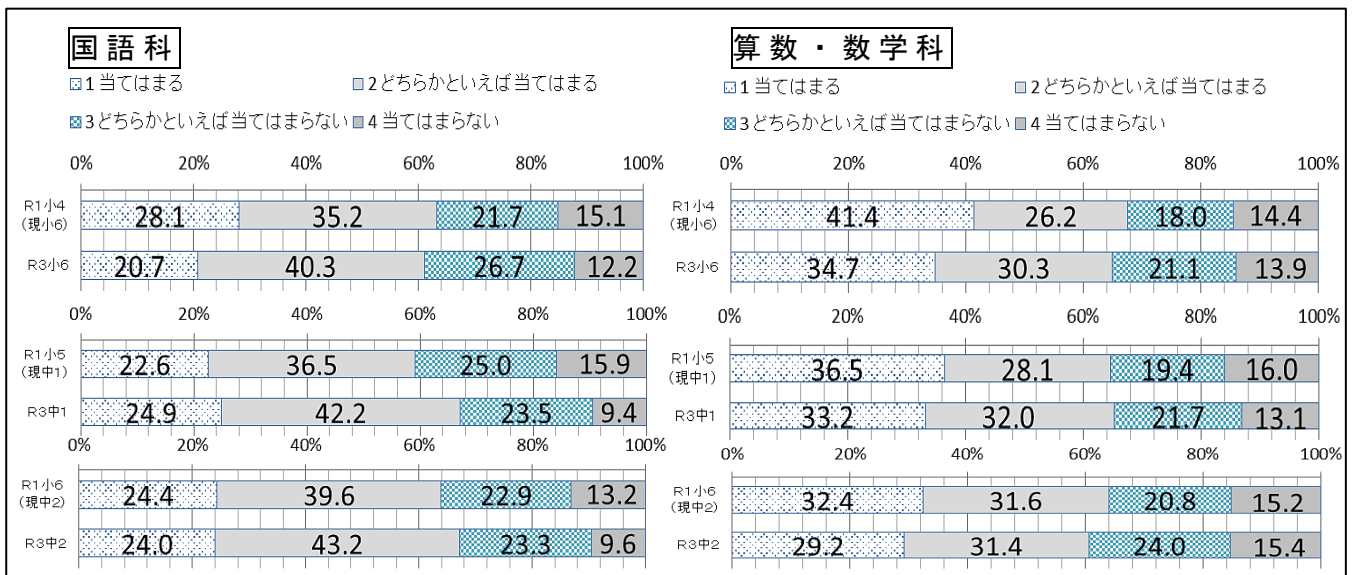
【質問14～18】各教科の勉強が好きだ。

- 理科、英語科において、学年が上がるにつれ、肯定的な回答の割合が減少している。
- 国語科、算数・数学科においては、同一の学年集団で比較すると、中学1年生の国語科を除き、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合が前年度から減少している。

【今年度調査の結果】



【同一の学年集団で比較】



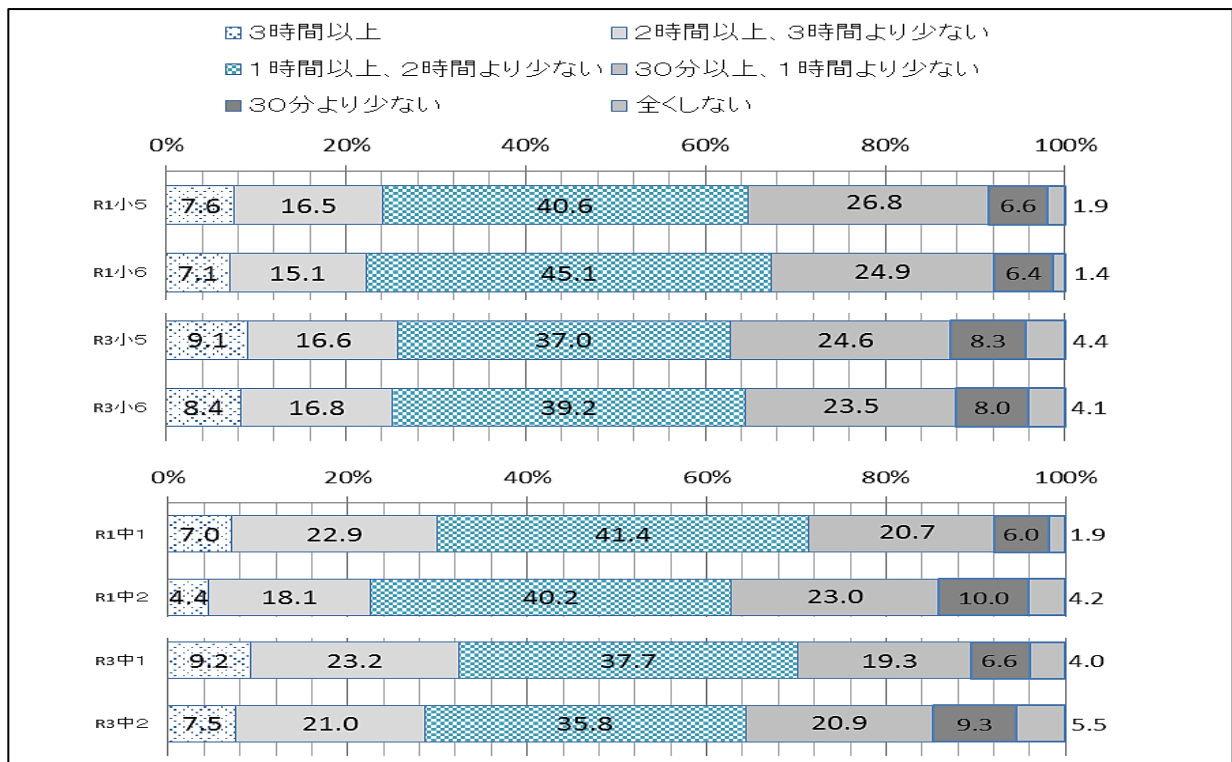
【家庭学習の習慣】

【質問19】学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます。）

○ 「2時間以上」と回答した割合を、学年ごとに一昨年度と比較すると、全ての学年で増加している。

△ 「2時間以上」と回答した割合を、同一の児童生徒集団で比較すると、小学6年生では大きな変化がないが、中学1・2年生では増加している。

【令和元年度調査との比較】



【同一の児童生徒集団で比較】

